

IGES SDGs プロジェクト -Aspiration to Action-

How global SDGs can be put into action

持続可能な開発目標 (SDGs) の効果的な実施に向けて IGES SDGs プロジェクト "Aspiration to Action" では、持続可能な開発目標 (SDGs) の「実施手段 (means of implementation)」に焦点を当て、開発目標とターゲットの効果的な実施に向けて、多様なステークホルダーやパートナーとの協働を通して、積極的な提案を行っていきます。



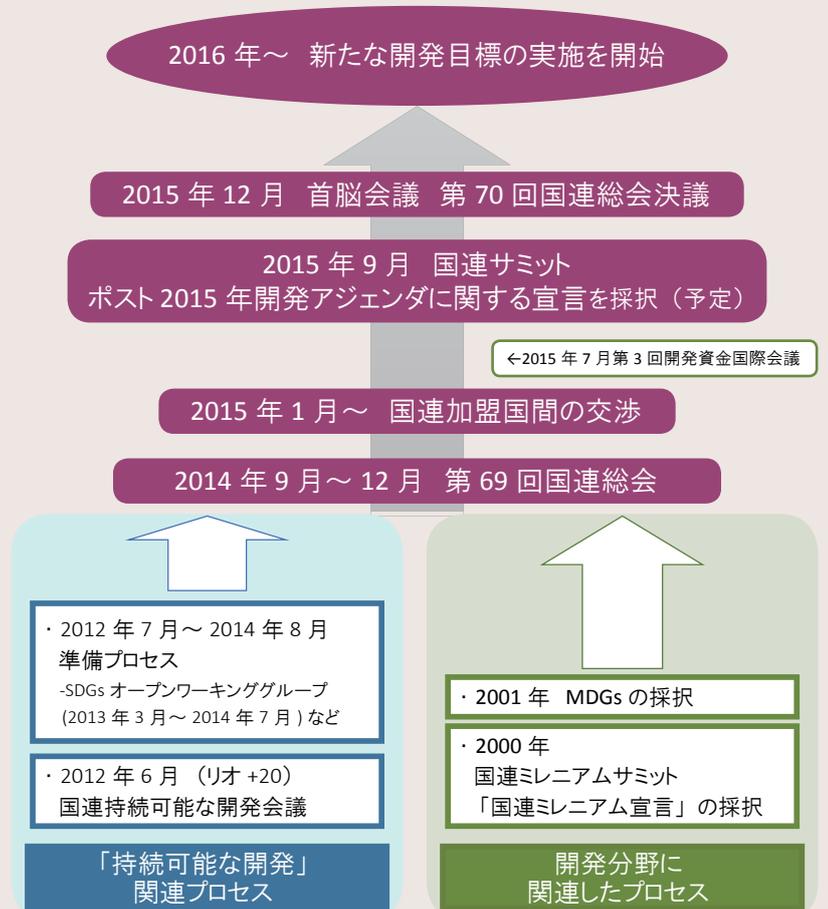
How global SDGs can be put into action

持続可能な開発目標 (SDGs) の効果的な実施に向けて

目的

国際社会は 2015 年以降の開発アジェンダにおける新たなグローバル開発目標「持続可能な開発目標 (SDGs)」の策定に向けて議論を進めています。IGES では、SDGs に関する新たな分野横断協働プロジェクト「Aspiration to Action」を始動し、研究活動を進めています。現在、開発や環境に関する多くの条約や協定が存在していますが、残念ながらその実践に関して顕著な成果が出ているとは言いがたいのが現状です。このような現状を踏まえ、本プロジェクトでは、国際開発や地球環境問題対策の大きな課題である、「実施における隔たり」に着目し、国際交渉などで良く使用されるいわゆる「実施手段 (means of implementation)」に焦点を当て、開発目標とターゲットの効果的な実施に向けた阻害要因や成功要因などを検証します。

2015 年 9 月には新たな開発目標が策定される見込みですが、今後の交渉プロセスでは、持続可能な開発達成のための道筋となる目標とターゲットが策定されることが期待されています。IGES では、パートナー機関、市民社会、その他の関連ステークホルダーと協力し、野心的 (aspirational) でありつつも、実践的 (actionable) なポスト 2015 年開発アジェンダの策定及び実施に貢献することを目的としています。



ポスト 2015 年開発アジェンダに関する議論の流れ

研究内容

効果的な SDGs の策定には、開発目標実践に必要な実施手段 (MOI) を計画的かつ統合的に明確化していくことが必要となります。IGES では、主に、水、エネルギー、森林、都市、持続可能な消費と生産、教育の各分野に関する主要な実施手段 (MOI) を検証し、これらの分野に関連する SDGs の策定と実施に向けた実践面からの提案を行います。今後は、上記分野に関するディスカッションペーパー・シリーズの発表、各分野に関する実施手段 (MOI) の共通要素をとりまとめた統合報告書の発表のほか、ポスト 2015 年以降の資金開発に関する分野横断的なインプットをする予定です。

また、将来の開発目標の実施においては、政府、企業、市民社会、及び一般市民など多くの主体がその達成に向けて行動に移していくことが重要です。本プロジェクトでは、対話や共同研究などを通して多くのステークホルダーやパートナー機関に積極的に働きかけ、より実践的な研究や政策提案を行っていきます。

IGES Policy Brief 2014 年 11 月発行

Designing and Implementing an Energy Goal: Delivering Multi-benefits for Sustainable Development

エネルギー目標のあり方と実施：持続可能な開発のためのマルチ・ベネフィットの促進に向けて



お問い合わせ：

公益財団法人 地球環境戦略研究機関 (IGES) SDGs プロジェクト
〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11
Tel: 046-855-3853 Fax: 046-855-3809
E-mail: ipss-info@iges.or.jp
URL: <http://www.iges.or.jp/jp/sdgs/>



プロジェクト詳細・最新情報はこちら：<http://www.iges.or.jp/jp/sdgs/>